

一般社団法人 日本家政学会関東支部
2020年度 通常総会議案書

(一社)日本家政学会関東支部

一般社団法人日本家政学会関東支部 2020 年度通常総会次第

日 時： 2020 年 5 月 4 日（月）

場 所： メール審議

1. 議 事

第一号議案 2019 年度事業報告の承認に関する件

第二号議案 2019 年度収支決算報告に関する件

第三号議案 2019 年度監査報告の件

第四号議案 2020・2021 年度役員選出の件

第五号議案 2020 年度事業計画案の件

第六号議案 2020 年度収支予算案の件

【第一号議案】2019年度事業報告の件

1. 総務関係

(1) 会員の状況 (2020年3月31日現在)

正会員 948名 (永年会員 45名を含む)
学生会員 77名
計 1,025名

(2) 総会 (規約第12条(1))

2.1) 通常総会

2019年4月20日(土) 於 日本女子大学
2018年度事業報告及び収支決算
2019年度事業計画及び予算案の承認など

(3) 役員会開催 (規約第12条(4))

- 3.1) 第1回 2019年4月20日(土) 於 日本女子大学
出席(23名): 支部長、副支部長2、幹事17、監事2、オブザーバー1
- 3.2) 第2回 2019年7月27日(土) 於 大妻女子大学
出席(16名): 支部長、副支部長2、幹事13、監事0、オブザーバー0
- 3.3) 第3回 2019年8月29日(木) 於 文化学園大学
出席(14名): 支部長、副支部長2、幹事9、監事1、オブザーバー1
- 3.4) 第4回 2019年11月9日(土) 於 大妻女子大学
出席(19名): 支部長、副支部長1、幹事13、監事2、オブザーバー2
- 3.5) 第5回 2019年11月9日(土) 於 大妻女子大学
出席(19名): 支部長、副支部長1、幹事13、監事2、オブザーバー2
- 3.6) 第6回 2020年2月14日(水) 於 お茶の水女子大学
出席(21名): 支部長、副支部長2、幹事16、監事1、オブザーバー1

(4) 功労賞の推薦

功労賞候補として、関東支部会員3名を推薦した。

2. 財務関係

若手の会の見学講演会を支部の行事として組み入れたため、若手の会を組織内の下部組織として若手の会の決算を組み入れた決算案とした。補助金は組織内部での移動になるため、相殺される。

統計講習会(C企画)と2件の見学・講演会(若手の会,D企画)、卒論・修論の研究発表会(F企画)が予定通り実施された。そのうち、修論・卒論の研究発表会については、本部の活動助成金が承認された。統計講習会については、2019年度は前年度同様に資料代を500円とし、統計講習会の内容を製本し、参加者に配布した。参加者が多かったため、利益が得られた。また、8月29日の見学・体験会については、若手の会との協賛で行い、活性化サポート活動助成金が認められた。そのため予算内で賄うことができた。当期分の支出は本部交付金と活動助成金の範囲内であり、予算支出合計額を下回った。

3. 企画関係

(1) 研究発表会 (規約第4条(1))

1.1) 第 22 回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

日時：2020 年 2 月 14 日（水） 13：00～18：00（研究交流会含む）

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟 2 号館 101、102 講義室、食堂マルシェ

演題数：23 件（卒論 14 件、修論 9 件）

参加者：86 名（学会員 45 名、非学会員 41 名、内訳一教員 42 名、学生 44 名）

発表に対し、卒論 5 題と修論 4 題について発表奨励賞の表彰を行った。

(2) 講習会（規約第 4 条（2））

2.1) 統計講習会(第 5 回)

日時：2019 年 4 月 20 日（土）13：30～16：40

会場：日本女子大学目白キャンパス（80 年館 5 階 851 教室）

講師：竹内 光悦 氏（実践女子大学人間社会研究科人間社会専攻教授）

「生活科学のための統計解析」統計の面白さを知ろう

内田 治 氏（東京情報大学准教授）

「統計手法活用上の留意点と最近の手法」

参加者：115 名（学会員 70 名、非学会員 45 名）

資料代一人 500 円とした

(3) 講演・講習会（規約第 4 条（2））

3.1) 講演会&見学会

日 時：2019年11月2日（土曜日）13:15～15:30

会 場：パナソニックセンター東京

テーマ：“東京 2020”を支える身近な技術

内 容：1) 講演会 13：15 ～ 14：15

題目：「洗濯機の技術進化に学ぶ」

講師：藤井 裕幸氏（パナソニック株式会社）

2) 見学会 14：30 ～ 15：30

① オリンピック・パラリンピック関連展示

② Wonder Life-BOX パナソニックが考える

「2020 年～2030 年のより良い暮らし」

参加者：30 名

参加費：無料

4. 広報関係

(1) 関東支部ホームページの管理

HP の更新は毎月 2 回（5 日と 20 日）に本部一括で行われている。関東支部の活動内容の HP 掲載は、2019 年度はイベント案内 5 回（見学会・講演会 2 件、卒論・修論発表会 1 件、通常総会・統計講習会 1 件）、イベントアルバム 3 回（見学会・講演会 2 件、卒論・修論発表会 1 件）、議事録 6 回、議案書 1 回の掲載を依頼した。

(2) 関東支部メールニュースの配信

HP 管理と同様に、家政学会本部よりメールアドレスを登録している会員に対し配信を行なっている。配信は講演・講習会等の企画について 5 回程度依頼した。

(3) その他の活動

講演・講習会、家政学関連卒論・修論発表会、統計講習会等の企画については、HP による案内だけでなく、学会誌への告知ならびに、ポスターを作成して、関連部署へ広く広報活動を行った。

5. 若手の会の活動

(1) 会員の状況 (2020年2月現在)

正会員	65名
学生会員	0名
<hr/>	
計	65名

(2) 幹事会開催

第1回	2019年5月17日(金)	帝京平成大学	出席：幹事	計8名
第2回	2019年8月29日(木)	文化学園大学	出席：幹事	計10名
第3回	2019年10月11日(金)	帝京平成大学	出席：幹事	計7名
第4回	2020年2月27日(木)	帝京平成大学	出席：幹事	計6名

(3) 企画関係 (規約第4条(2))

3.1) 2019年度 関東支部・若手の会夏季企画

「写真で残す家政学～魅せる写真で「映える」を導くテクニック」

日時：2019年8月29日(木) 10:00～15:00

会場：文化学園大学

講演会講師：加賀城 早希氏 (株式会社オージーフーズ)

体験会講師：小牧 舞氏 (株式会社オージーフーズ)

参加者：42名 (学会員27名、非学会員15名、内、講演会のみ参加5名)

(4) 広報関係

4.1) 関東支部若手の会ホームページの管理

2016年11月から本部の一括管理となった若手の会ホームページは、2019年度も引き続き本部で管理・更新が行われた。幹事情報の更新、企画の案内、活動報告の掲載を依頼し、掲載状況を確認した。

4.2) 情報発信・共有

若手の会ホームページに企画の案内を掲載した。若手の会メンバーおよび、過去の企画参加者に対し、企画の案内メールを送付した。

4.3) その他の活動

夏季の企画案内、活動報告について関東支部に依頼し、リンクを支部ホームページに掲載した。

【第三号議案】2019年度収支決算報告に関する件

2019年度 関東支部収支決算

収入の部

	予算	決算	差異	備考
本部交付金	805,504	738,756	-66,748	本部交付金590,500円+選挙費148,256円
本部活動助成金	300,000	183,855	-116,145	活動助成金 (F企画：83,855円、D企画：100,000円)*
事業収入	20,000	57,500	37,500	
利息	8	10	-2	
当期収入合計(a)	1,125,512	980,121	-145,391	
前期繰越収支差額	1,030,540	1,030,540	-	
収入合計(b)	2,156,052	2,010,661	-145,391	

*F企画：修論・卒論発表会、D企画：若手の企画

支出の部

	予算	決算額	差異	備考
1 管理費				
会議費	50,000	48,477	-1,523	
旅費交通費	110,000	43,114	-66,886	
通信・運搬費	81,500	370	-81,130	
消耗品費	52,798	1,944	-50,854	
人件費	20,000	0	-20,000	
印刷費	50,000	1,140	-48,860	
支払請負金	2,000	2,444	444	
小計	366,298	97,489	-268,809	
2 事業費				
総会費	80,000	69,050	-10,950	
見学・講習会	365,000	328,419	-36,581	
研究発表会	240,000	197,844	-42,156	
研究発表要旨集関連運営費	30,000	32,271	2,271	
選挙費	80,000	191,458	111,458	
小計	795,000	819,042	24,042	
3. その他				
予備費	10,000	0	0	
小計	10,000	0	0	

当期支出合計(c)	1,171,298	916,531	-254,767	
当期収支差額(a)-(c)	-45,786	63,590		
次期繰越収支差額(b-c)	984,754	1,094,130		

現金預金の期末残高内訳

	2019年度
手許現金	19,793
若手の会繰越金	122,614
銀行預金(普通預金)	951,723
銀行預金(定期預金)	0
合計	1,094,130

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、平成30年度の計算書類が正しく示されているものと認めます

2020年 4月 6日

監事

倉村 清美



監事

天野 晴子



支部名:関東支部

2019年度 関東支部預金収支決算

一般

単位:円

	費目名	収入金額	支払金額	備考
収入	繰入金	931,242		
	学会本部より	922,611		本部交付金590,500円+選挙費148,256円 活動助成金(F企画83,855円、D企画100,000円)
	事業収入	57,500		統計講習会
	利息	10		
	寄付金	99,298		若手の会繰越金
	収入合計	2,010,661		
支出	引出		142,407	支部19,793、若手の会122,614
	事業		914,087	
	手数料		2,444	支払負担金
	支出合計		1,058,938	
収支差額(次期繰越額)				951,723

定期預金

※平成23年10月18日に解約し普通預金に振込

	費目名	収入金額	支払金額	
収入	新規預け入れ	-		
	利息	-		
	収入合計	-		
支出	支出合計		-	
収支差額(次期繰越額)				-

貸借対照表 (②関東支部)
(2020年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
手許現金	19,793	19,004	789
普通預金(みずほ銀行)	951,723	912,238	39,485
通常貯金(ゆうちょ銀行)			
関東支部若手の会	122,614	0	122,614
流動資産合計	1,094,130	931,242	162,888
2. 固定資産			
支部大会基金引当預金			
定期預金()			
通常貯金(ゆうちょ銀行)			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	1,094,130	931,242	162,888
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金			
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	1,094,130	1,030,540	63,590
負債及び正味財産合計	1,094,130	931,242	162,888

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、2019年度の計算書類が正しく示されているものと認めます

2020年 4月 6日

監査

倉持清美



監査

天野 晴子



【第三号議案】2019年度監査報告の件

一般社団法人日本家政学会関東支部規約に基づき、支部事業および支部会計の監査を実施した。支部監事は役員会に陪席し、審議経過を傍聴するとともに、支部事業に参加し、その実行状況を観察し、会計幹事から決算に関する報告及び説明を受けた。以下は、監査報告である。

1. 総務関係

支部に所属する会員数は、2020年3月31日現在で1,025名（正会員948名、学生会員77名）であり、2019年度より8名減少した。前年度は60名の増加であったが、それ以前は55名減、37名減と減少傾向が続いており、昨年度の増加要因を含め、今後の取り組みを考えていく必要がある。

役員会はおおむね良好な出席状況で、適正かつ効率的な運営に努めていたと判断する。また、功労賞候補者の推薦など本部との連携も行われている。

2. 財務関係

決算報告書は、予算の区分に従い、決算の状況を正しく示している。

2019年度は、選挙費用も必要であったため、当期収支差額が約6万円の黒字ではあるが、前年度（黒字約30万円）に比較すると減少した。2017年度の実績と比較しても約13万円減少していた。収入面では、統計講習会の冊子費用が約6万円あった。支出では会場費の増加なども理由であろう。今後も、事業に対する本部からの活動助成金の獲得を図るとともに、適正な収支バランスを保って頂きたい。

3. 企画関係

事業の実績に関する報告書は、実施状況を正しく示している。

2019年度は、研究発表会（卒業論文・修士論文発表会）、講習会（統計講習会）、見学会・講演会（パナソニックセンター東京「東京2020」を考える）が開催され、盛会であった。生活に密接に関わるさまざまな現場との交流や学生の教育機会となっている面もあり、好ましいと考える。卒業論文・修士論文発表会は、演題23件で、参加者数は86名と前年度を上回り、取り組みが功を奏していることが伺える。

4. 広報関係

支部ホームページ（本部で管理・更新）にはイベント案内や議事録などを掲載した。支部会員へのメールニュース（本部より配信）は、メールアドレスを登録している会員に対し見学会・講演会の案内を送信した。その他学会誌への告知やポスター配布など、いずれも広報に役立っている。

5. 若手の会

2019年度は、夏季企画として講演会&体験会が実施され、盛会であった。幹事会も年5回開催するなど、努力されている。ライフステージの特徴を反映し、厳しい活動環境の中ではあるが、さらなる組織運営の工夫等により、次世代の育成の機会にすることが期待される。

以上、当支部の事業及び運営は、一般社団法人日本家政学会定款もしくは一般社団法人日本家政学会関東支部規約に則り、概ね順調に行われている。

【第四号議案】 2020・2021年度役員選出の件

1. 支部役員

関東支部長

川端 博子	埼玉大学
-------	------

副支部長

新藤 一敏	日本女子大学
重川 純子	埼玉大学

支部監事

飯島 久美子	東洋大学
小西 史子	女子栄養大学

支部幹事

1	飯島 陽子	神奈川工科大学
2	大石 恭子	和洋女子大学
3	上野 茂昭	埼玉大学
4	大塚 有里	東京家政大学
5	大橋 寿美子	大妻女子大学
6	小原 敏郎	共立女子大学
7	加藤 三貴	神奈川県産業技術センター
8	小林 理恵	東京家政大学
9	斎藤 悦子	お茶の水女子大学
10	西念 幸江	東京医療保健大学
11	志村 結美	山梨大学
12	下村 久美子	昭和女子大学
13	新實 五穂	お茶の水女子大学
14	西原 直枝	聖心女子大学
15	花田 朋美	東京家政学院大学
16	濱田 仁美	東京家政大学
17	堀内 かおる	横浜国立大学
18	松梨 久仁子	日本女子大学
19	森 理恵	日本女子大学
20	山口 智子	新潟大学
21	山村 明子	東京家政学院大学

2. 関東支部選出本部代議員

1	飯島 久美子	東洋大学
2	潮田 ひとみ	東京家政大学
3	大石 恭子	和洋女子大学
4	数野 千恵子	実践女子大学
5	小西 史子	女子栄養大学
6	小林 三智子	十文字学園女子大学
7	定行 まり子	日本女子大学
8	塩原 みゆき	(株) 晋遊舎
9	新藤 一敏	日本女子大学
10	仲西 正	お茶の水女子大学
11	早川 文代	(国研) 農業・産業食品技術総合研究機構
12	平尾 和子	愛国学園短期大学
13	藤原 葉子	お茶の水女子大学
14	堀内 かおる	横浜国立大学
15	松梨 久仁子	日本女子大学
16	丸田 直美	共立女子大学
17	三神 彩子	東京ガス (株)
18	米田 千恵	千葉大学
19	米山 雄二	文化学園大学

【第五号議案】2020年度事業計画案

1. 総務関係

(1) 総会（規約第 12 条（1））

1.1) 通常総会

2020年4月18日（土）に東京家政学院大学において開催する。

(2) 役員会開催（規約第 12 条（4））

年 6 回の開催を予定している。

(3) 学会賞・奨励賞・功労賞の推薦

関東支部推薦の学会賞・奨励賞・功労賞の候補者の選考を行う。また、公益信託家政学研究助成基金の助成などについても申請することを推奨する。

2. 財務関係

昨年度に引き続き、若手の会の見学講演会を支部の行事として組み入れている。交付金は前年度に比べ削減されている。これは選挙がないことと、新型コロナウイルスの影響で総会・統計講習会が中止となったためである。支部本体の管理費関係では選挙に関わる通信運搬費、印刷費、人件費などを減額した。今後の状況により事業企画が延期や中止になることも考えられるが、事業関係費では見学会・講習会、研究発表会は前年度予算とほぼ同額とした。

3. 企画関係

(1) 研究発表会（規約第 4 条（1））

1.1) 第 23 回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

2021年2月中旬、関東の大学での開催を予定している。

(2) 講習会（規約第 4 条（2））

2.1) 研究・教育活動に役立つ講習会

2020年4月18日、統計講習会を開催する。於：東京家政学院大学

(3) 見学会・講演会（規約第 4 条（2）（3））

年 1 回（10 月～12 月）の見学会、または講演会を予定している。

4. 広報関係

関東支部の活動と密接に連動させたホームページの内容になるように、積極的に記事の掲載、更新を行い、広く活動内容を広報する。メールニュースの配信回数を増やし、支部で開催する講習会、見学会等への参加人数の増加に努める。また、メールアドレス登録の呼びかけにも努める。

5. 若手の会の活動

2020年度年次大会において、2019年度企画をまとめたポスター発表を行う。企画については、2019年度に実施した「写真で残す家政学～魅せる写真で「映える」を導くテクニック」の講演会と体験会について好評であったため、2020年度も引き続き、講演会と併せて体験会を実施し、非学会員や幅広い年代の参加者を集う。また、2019年度に開催した小規模な勉強会を引き続き、行うこととする。若手の会幹事会は定期的に開催し、活発な意見交換を行う。

【第六号議案】2020年度収支予算案

2020年度関東支部 予算案

収入の部 支部本体のみ

単位:円

	予算	前年度予算	差異	備考
本部交付金	597,250	805,504	208,254	本部交付金
本部活動助成金	300,000	200,000	100,000	統計講習会分減額のため
事業収入	20,000	20,000	-	
利息	10	8	2	
当期収入合計(a)	917,260	1,025,512	108,252	
前期繰越収支差額	1,094,130	1,030,540	-63,590	
収入合計(b)	2,011,390	2,056,052	44,662	

支出

	予算	前年度予算	差異	備考
1 管理費				
会議費	50,000	50,000	-	
旅費交通費	110,000	110,000	-	
通信・運搬費	81,500	81,500	-	
消耗品費	52,798	52,798	-	
人件費	20,000	20,000	-	
印刷費	30,000	50,000	-20,000	
支払請負金	3,000	2,000	-1,000	
小計	347,298	366,298	19,000	
2 事業費				
総会費	90,000	80,000	10,000	
見学・講習会	365,000	265,000	100,000	統計講習会中止のため
研究発表会	240,000	240,000	-	
研究発表要旨集関連運営費	40,000	30,000	10,000	
選挙費	-	80,000	-80,000	
小計	735,000	695,000	-40,000	
3. その他				
予備費	10,000	10,000	-	
小計	10,000	10,000	-	
当期支出合計(c)	1,092,298	1,071,298	21,000	
当期収支差額(a)-(c)	-175,038	-45,786	-129,252	
次期繰越収支差額(b-c)	919,092	984,754	-65,662	